

Economic Indicators

発表日: 2024年9月6日(金)

主要経済指標予定(2024年9月9日~9月13日)

(株)第一生命経済研究所 経済調査部
日本経済短期チーム (TEL: 03-5221-4525)

(9月9日~9月13日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
9月9日 (月)	8:50 4-6月期GDP 2次速報				
	実質GDP成長率(前期比)	+0.8%	+0.8%	+0.7%~+0.9%	+0.8%
	(同年率)	+3.2%	+3.2%	+2.6%~+3.8%	+3.1%
	名目GDP成長率(前期比)	+1.8%	+1.8%	+1.0%~+2.1%	+1.8%
	GDPデフレーター(前年比)	+3.0%	+3.0%	+2.9%~+3.0%	+3.0%
	8:50 7月国際収支統計				
	経常収支(原数値、億円)	+26,405	+26,285	+19,687~+29,200	+15,335
9月10日 (火)	8:50 8月マネーストック				
	M2(前年比)	+1.3%	+1.4%	+1.3%~+1.4%	+1.4%
	M3(前年比)	+0.9%	+0.9%	+0.9%~+0.9%	+0.9%
	広義流動性(前年比)	+2.8%	+2.8%	+2.7%~+3.0%	+2.9%
9月11日 (水)					
9月12日 (木)	8:50 8月企業物価指数				
	(前月比)	▲0.1%	—	—	+0.3%
	(前年比)	+2.7%	+2.8%	+2.5%~+3.0%	+3.0%
	8:50 7-9月期法人企業景気予測調査				
	景況判断BSI大企業製造業	—	—	—	▲1.0
9月13日 (金)	13:30 7月鉱工業指数・確報				
	鉱工業生産指数(前月比)	—	—	—	+2.8%

(注) 市場予測・レンジは Bloomberg、日経 QUICK 調査をベースに作成



4-6月期GDP 2次速報・実質GDP成長率 当社予想：前期比年率+3.2% 中央値：同+3.2%

前期比年率+3.2%（前期比+0.8%）と、1次速報の前期比年率+3.1%（前期比+0.8%）からほぼ変わらずと予想する。建設総合統計の結果を受けて公共投資が小幅上方修正されるとみられるものの、GDP全体としてはほぼ修正なしとなるだろう。景気認識に修正を迫る結果にはならないと予想される。なお、4-6月期の高成長は自動車要因による反動増により押し上げられている面も大きく、この点は割り引いてみる必要がある。実際、自動車による攪乱を均してみるために24年1-6月期と23年7-12月期の実質GDPの水準を比較すると概ね同水準にとどまるとみられるほか、実質GDPを前年比で見れば、24年1-3月期、4-6月期は2四半期連続のマイナスだ。4-6月期の高成長をもって景気に強気になるには至らない。

（シニアエグゼクティブエコノミスト：新家 義貴）

8月企業物価指数・国内企業物価 当社予想：前年比+2.7% 中央値：同+2.8%

8月の国内企業物価を前年比+2.7%、前月比▲0.1%と予想する。前年比では、政府による補助金政策が7月に一旦終了したことで電気・ガス代の伸びが拡大する一方で、価格転嫁の一服や円安調整による輸入物価の落ち着きにより、非鉄金属や化学品などを中心に企業物価全体は前回（+3.0%）から鈍化する見込み。

（副主任エコノミスト：大柴 千智）

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

